



POST CARD

PLACE STAMP HERE

ADDRESS

CORRESPONDENCE

海池三海子





76  
3960  
4  
(1)





POST CARD

ARTUR ARTUR  
PLACE STAMP  
HERE

CORRESPONDENCE

ADDRESS

降魔鬼の歌  
加子





fb  
3960  
4 (2)







76  
3960  
4  
(3)





POST CARD

ARTUR ARTUR  
PLACE STAMP  
HERE

CORRESPONDENCE

ADDRESS

新道尊とみりし心は  
あつもの量も多し  
雲山道徳法  
野塔を佛中士の種の様に





76  
3960  
4 (4)





POST CARD

CORRESPONDENCE

ADDRESS

RETURN  
PLACE  
STAMP  
HERE  
RETURN





7b  
3960  
4  
(5)

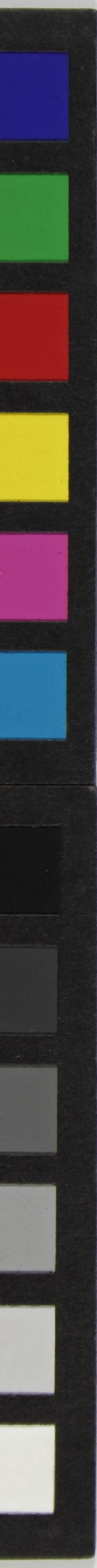


POST CARD

CORRESPONDENCE

ADDRESS

ARTUR ARTUR  
PLACE STAMP  
HERE  
ARTUR





46  
3960  
4  
(6)

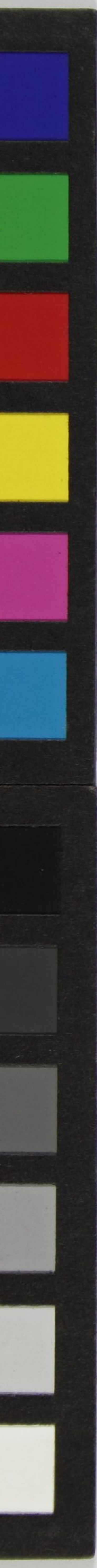


POST CARD

CORRESPONDENCE

ADDRESS

ARTUR ARTUR  
PLACE STAMP  
HERE  
ARTUR





46  
3960  
4  
(17)

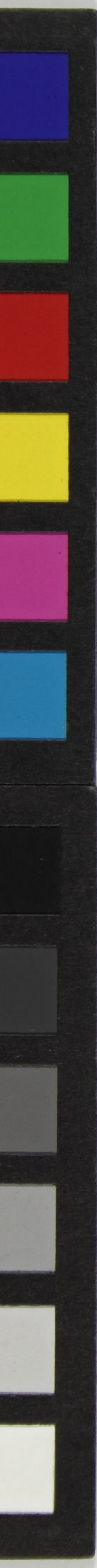


POST CARD

CORRESPONDENCE

ADDRESS

ARTUR  
PLACE  
STAMP  
HERE  
ARTUR





イ 6  
3960  
4  
(8)



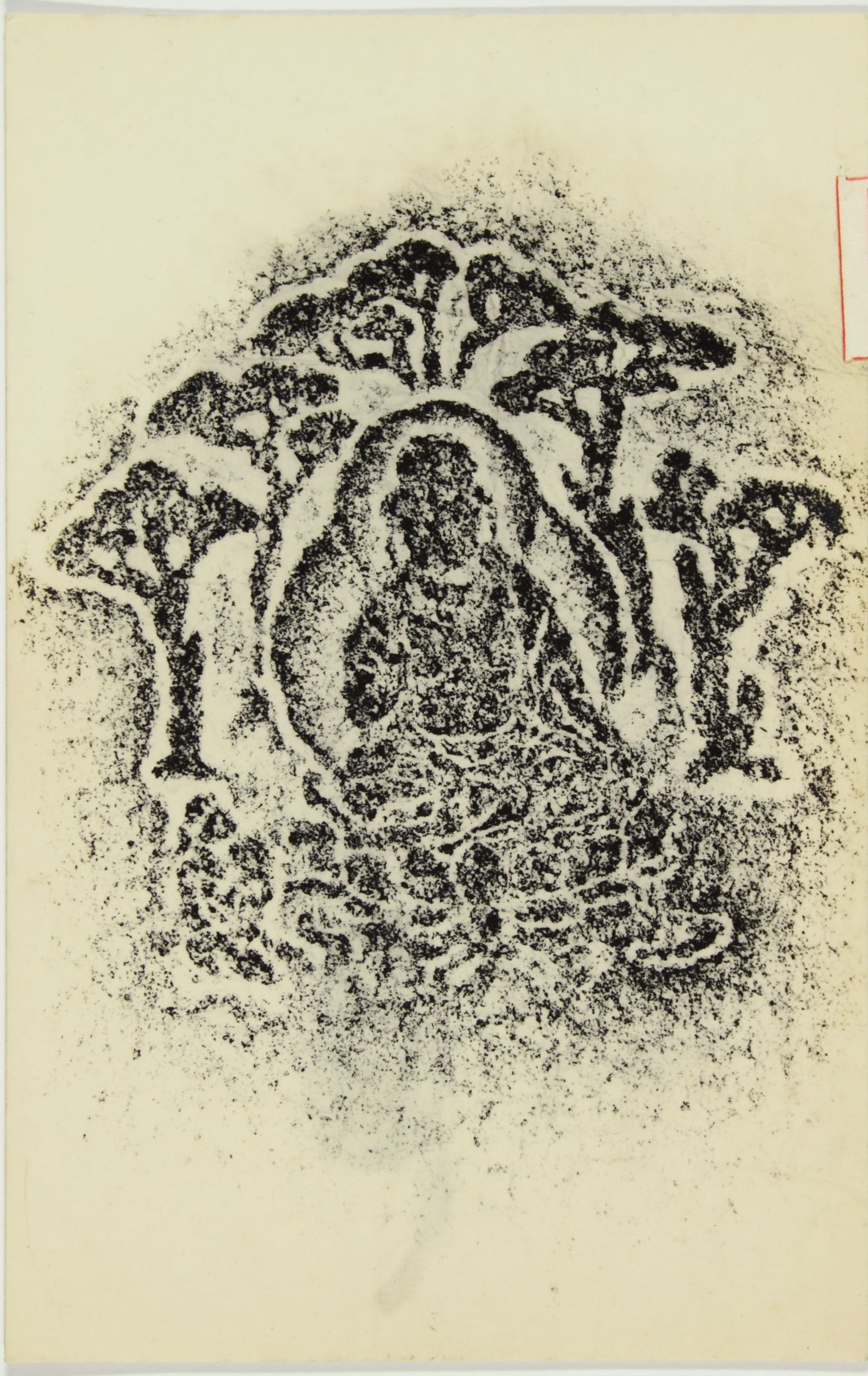
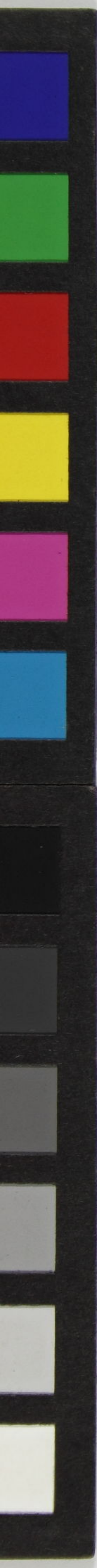




地神  
 草提樹下の釋尊像か  
 草提樹下の釈尊  
 は觸地の印に倣すを例と  
 す  
 かくの如く記法の印に  
 印序に於ては  
 例あり  
 草提樹下の人物

ARTIST'S PLACE  
 POSTAGE STAMP HERE  
 ADDRESS ONLY  
 CARD  
 FOOTSTEPS  
 CORRESPONDENCE





76  
3960  
4  
(9)





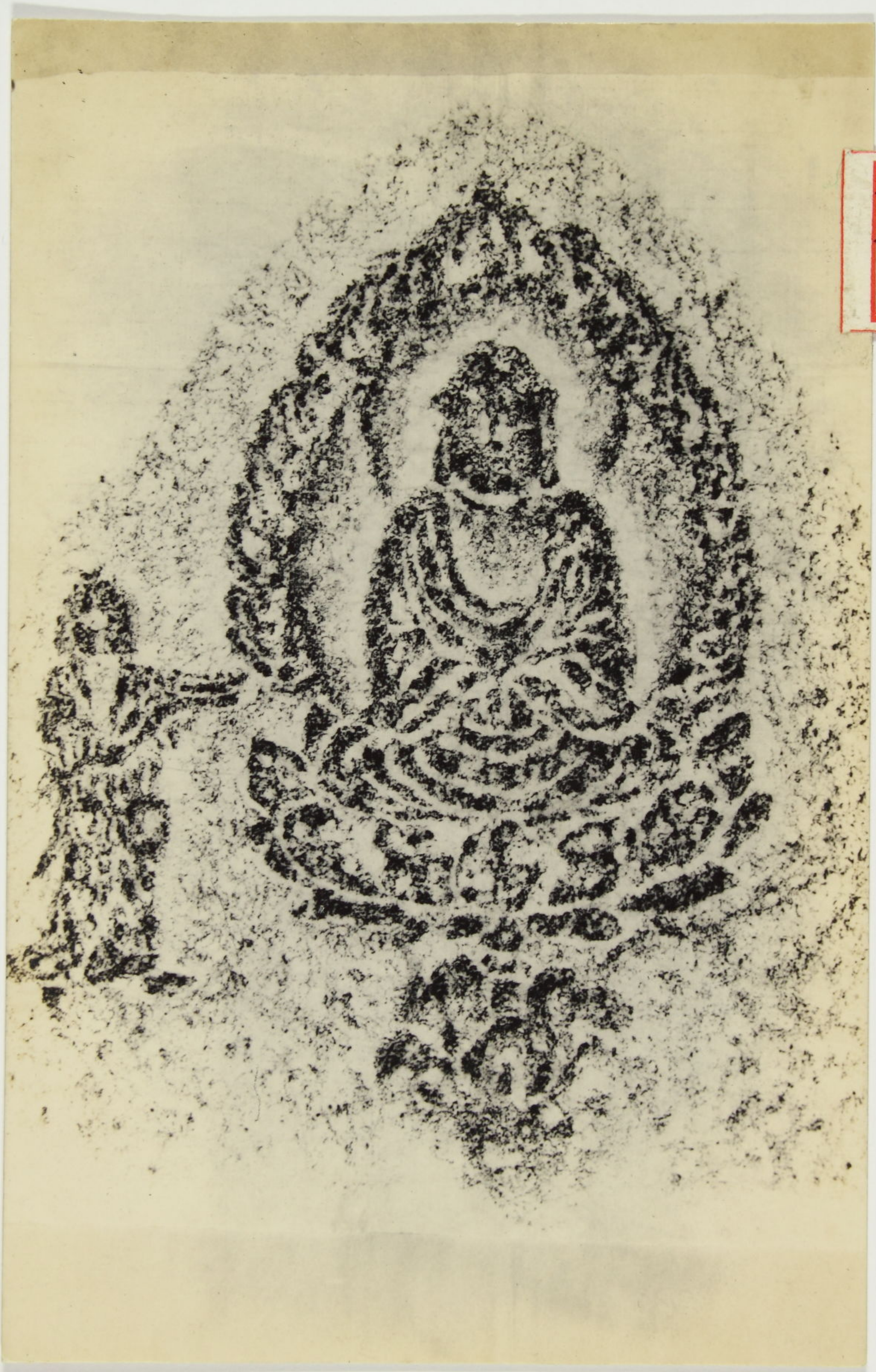
區別スルヲ要ス

POST OFFICE STAMP HERE ADDRESS ONLY  
他諸件出寄取  
出程ニ在佛傳ニ在取

司樂神

中 釋迦の帝釋の  
に於ける説法の  
團 あり  
在に在る





46  
3960  
4  
(10)





佛傳圖、尙方祭具也ラレ、

佛傳圖、尙方祭具也ラレ、  
佛傳圖、尙方祭具也ラレ、

代の別式に合す

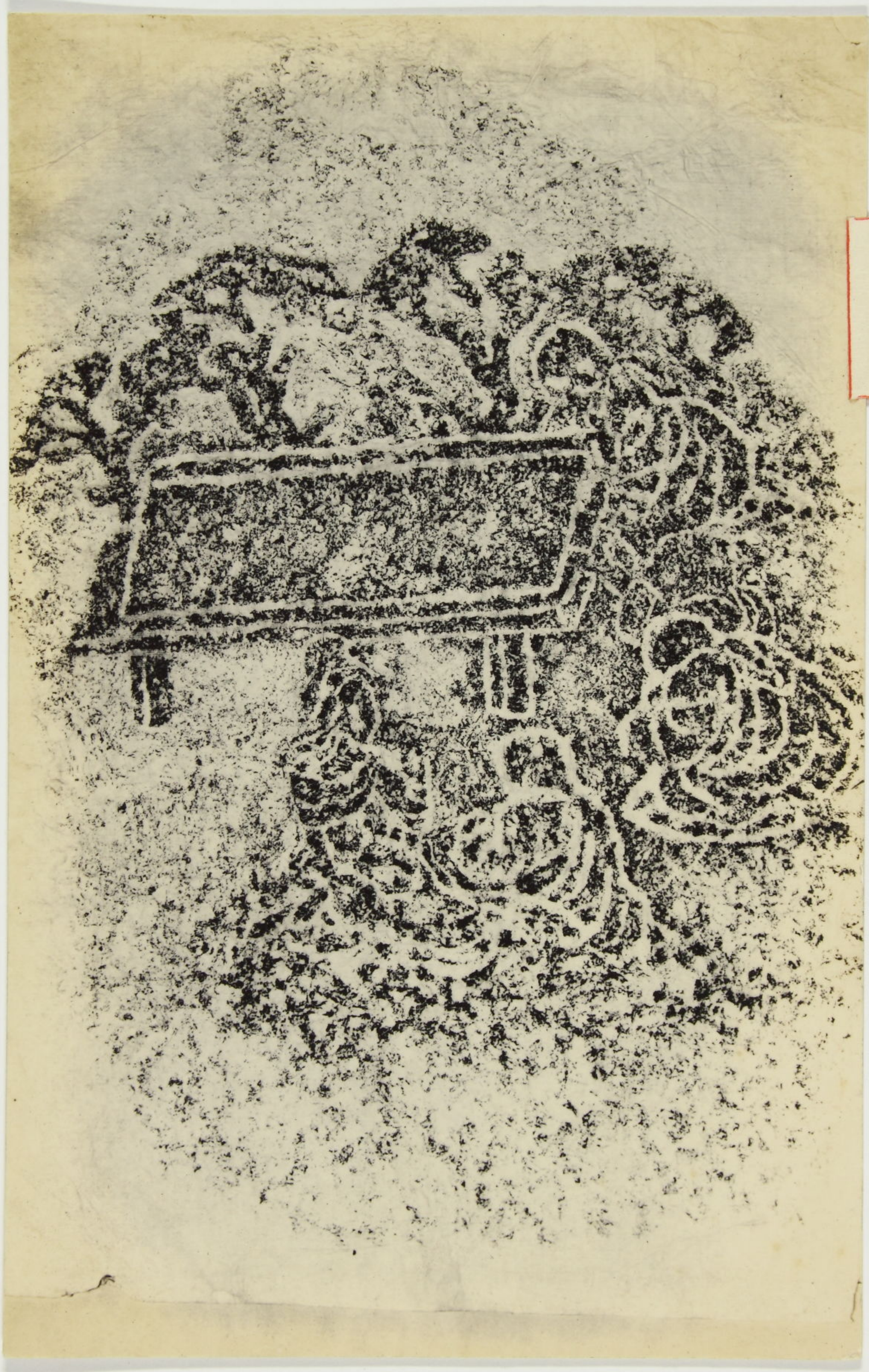
本邦に於て類例あり

本邦に於て類例あり

本邦に於て類例あり

釋迦の身體を描出せ





46  
3960  
4  
(11)





▲ A Z O ▲  
 A PLACE A  
 Z STAMP Z  
 O HERE O

POST CARD

CORRESPONDENCE

ADDRESS ▼ A Z O ▼

子の心  
 宛  
 へ  
 送  
 り  
 願  
 へ  
 ます  
 後  
 代  
 へ  
 送  
 り  
 願  
 へ  
 ます  
 新  
 加  
 波  
 港  
 へ  
 送  
 り  
 願  
 へ  
 ます





46  
3960  
4 (12)







▲ A Z O ▲  
 A PLACE A  
 Z STAMP Z  
 O HERE O  
 ▼ A Z O ▼

POST CARD

ADDRESS

CORRESPONDENCE

海軍省 海軍省 海軍省





76  
3960  
4 (13)





きかは便郵

市島謙太郎

東三島市牛久  
寺の竹井五

一月十日

UNION POSTALE UNIVERSELLE.  
CARTES POSTALES

東京市  
郵便局

四五個寺を訪問し、その  
竹林寺の寺僧は徳行の  
すくねた人ありしよし  
其墓に白くも冬は  
船岡様(其姓)と  
申して信仰するよし  
大隈を信の如きいふ神  
おにありきと有  
昨々は當地の玩具数種  
ありきありき  
紙製の  
の馬つちありき



(71)  
 +  
 0965  
 9+

連日  
 晝  
 夜  
 夢  
 の  
 中  
 に  
 見  
 ら  
 れ  
 た  
 山  
 の  
 景  
 色  
 は  
 今  
 も  
 心  
 に  
 残  
 り  
 高  
 知  
 に  
 入  
 り  
 小  
 舟  
 の  
 音  
 五  
 耳  
 山  
 の  
 木  
 立  
 吸  
 江  
 寺  
 の  
 鐘  
 十  
 数  
 年  
 の  
 間  
 久  
 々  
 と  
 又  
 此  
 の  
 地  
 帯  
 を  
 訪  
 ね  
 る  
 事  
 が  
 出来  
 た  
 事  
 だ  
 ら  
 ぬ  
 中  
 に  
 見  
 ら  
 れ  
 た  
 山  
 の  
 景  
 色  
 は  
 今  
 も  
 心  
 に  
 残  
 り



五  
 耳  
 山  
 の  
 景  
 色  
 は  
 今  
 も  
 心  
 に  
 残  
 り  
 高  
 知  
 に  
 入  
 り  
 小  
 舟  
 の  
 音  
 五  
 耳  
 山  
 の  
 木  
 立  
 吸  
 江  
 寺  
 の  
 鐘  
 十  
 数  
 年  
 の  
 間  
 久  
 々  
 と  
 又  
 此  
 の  
 地  
 帯  
 を  
 訪  
 ね  
 る  
 事  
 が  
 出来  
 た  
 事  
 だ  
 ら  
 ぬ  
 中  
 に  
 見  
 ら  
 れ  
 た  
 山  
 の  
 景  
 色  
 は  
 今  
 も  
 心  
 に  
 残  
 り

VIEW OF SUIVE FROM GODAIZAN PARK TOSA.

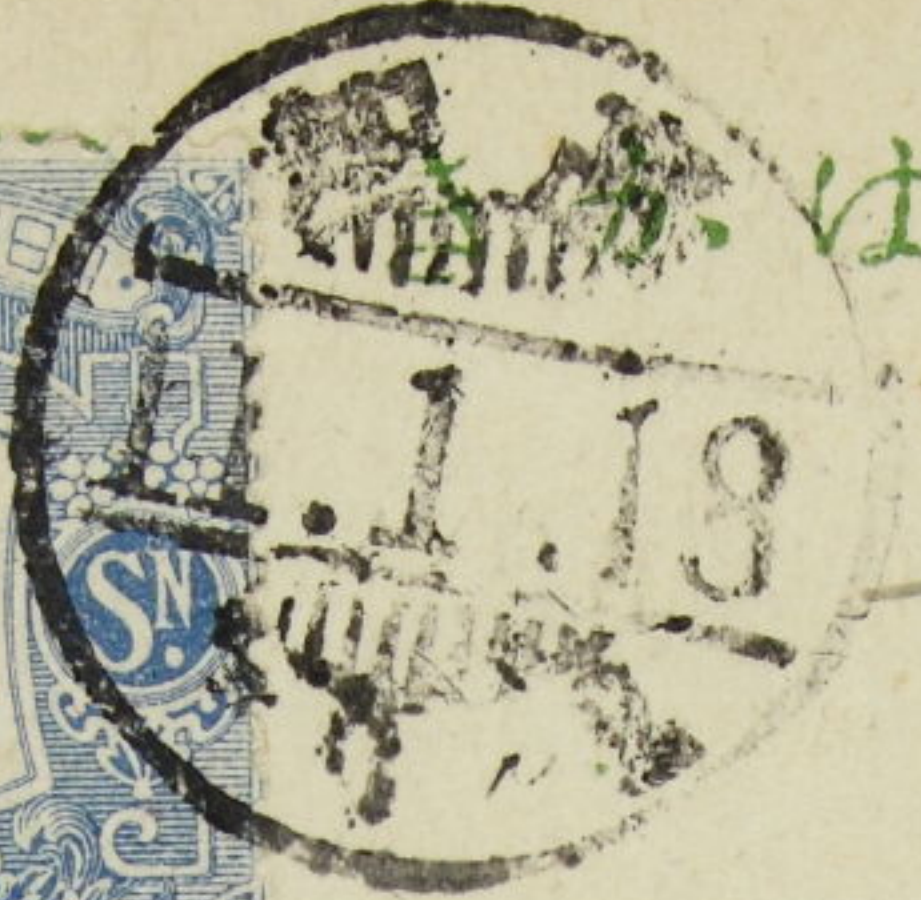
△望ヲ江吸リヨ園公山台五佐土





76  
3960  
+  
(15)

郵便便



東京市牛込区

五軒町廿五

島田謙吉  
様

一月廿七

字知布金子橋

山田直方

會津川

よきしめがた  
調子にはな後つ  
そ福利暦訪の  
等も無くよし同  
まもあ伊勢園の  
方一辨し一  
老侯の碑銘を五峰  
仙史が探毫を  
多聞にあとた  
問にたあし其  
したる苦心の  
やあふと





か、り之破掃甚くこれに對し修繕せしむるに  
 いつれも明治初年のアイコンラストの如くに

どの如きは  
 佛像の  
 押す予



宗安寺とて子に國家の四天王の二作と觀又  
 刻名神社に記す  
 高如  
 の佛像は  
 押す予  
 どの如きは  
 どの如きは



46 3960 4 (16)



郵便便かき

東ニ子ヲ  
牛ノ又チ五所  
市島五  
謙士

UNION POSTALE UNIVERSELLE.  
CARTES POSTALES

而之世間往々此程の  
事あり有るに船多朝  
宿毛と云ふ小島漢港に  
入るに飛雲飛々乗換  
すべし船中より空  
一を毛比海路に思ふに  
を得る道中の一極と  
有るに眼を  
UNION POSTALE UNIVERSELLE.  
CARTES POSTALES



高知公園の三ノ丸  
 西の風を  
 吹かす  
 舟の  
 影を  
 水面に  
 映す  
 白木の  
 櫓の  
 上には  
 白旗の  
 幟が  
 舞う  
 舟の  
 影を  
 水面に  
 映す  
 白木の  
 櫓の  
 上には  
 白旗の  
 幟が  
 舞う



高知公園の三ノ丸  
 西の風を  
 吹かす  
 舟の  
 影を  
 水面に  
 映す  
 白木の  
 櫓の  
 上には  
 白旗の  
 幟が  
 舞う

(行發堂水墨)

THE SANMARU KOCHI PARK.

丸の三園公知高







東京市牛込

本町三丁目

郵便使は  
市島謙吉  
様

月廿二日夜

宇和島

鶴宮旅館宛

番付八



が山程あるをみるみにて  
いさゝか心もぎく存ん  
不図ある書々存らせ此地の  
神官某の著作したる生道  
宗お海と子回六判五百  
餘頁の冊子も奪りて  
大に致馬つゝ其の程の  
運用如何は未だりりあた  
材料の羅列あり曲ま  
字句にありていふ旅客  
有上所作のいふ旅客  
な







千6  
3960  
4  
(18)

あふあふ牛込

あふあふ牛込

あふあふ牛込

郵便 宛 かけ



ARTÉ POSTALE

WADA SEIBIDO CO IN BEPPU

豊後臼杵

二月廿三日

大石佛群をあらわし  
しと切あし加故に紀伊  
に赴くともやあそ字新島  
を尋え再此地に安ん  
とす  
島附近四国の山名一帯  
に甚薄雪とと神々々し  
かほる石に一水を隔り子  
すみに臼杵に白きもの  
夕無多梅上遠く今  
在反門之入塔付今  
と探訪せと在か子所子と

白梅園の  
 風景は  
 古くより  
 名所として  
 知られて  
 いる。



白梅園の  
 風景は  
 古くより  
 名所として  
 知られて  
 いる。

白梅園公梅の家

15





76  
3960  
4  
(19)





東京市牛込

郵便の所 廿五

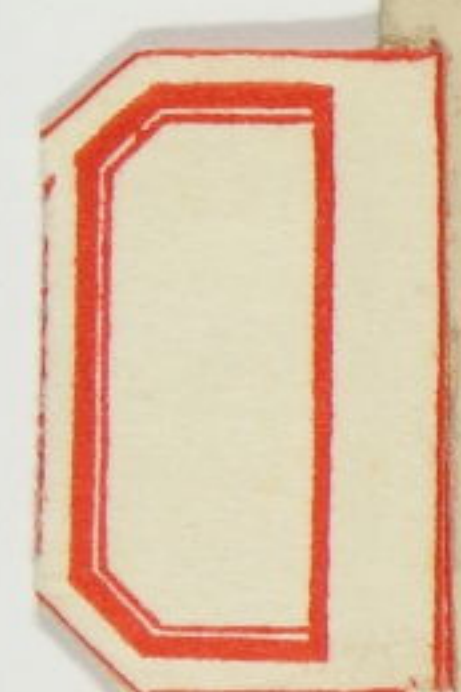
市島海士之 又

きかは便郵



ARTE POSTALE  
WADA SEIBIDO COIMBEPPU

B



白梅町え井方  
廿四の夜

日本めあが  
 は自信を以て  
 する一人に有  
 かく一平の  
 里以上も隔  
 寺のの洋を  
 陶師をよま  
 戸の名物よ  
 悟得仕らん

西と子と  
 断定  
 日本めあが  
 は自信を以て  
 する一人に有  
 かく一平の  
 里以上も隔  
 寺のの洋を  
 陶師をよま  
 戸の名物よ  
 悟得仕らん

日本めあが  
 は自信を以て  
 する一人に有  
 かく一平の  
 里以上も隔  
 寺のの洋を  
 陶師をよま  
 戸の名物よ  
 悟得仕らん



4960 4 (20)

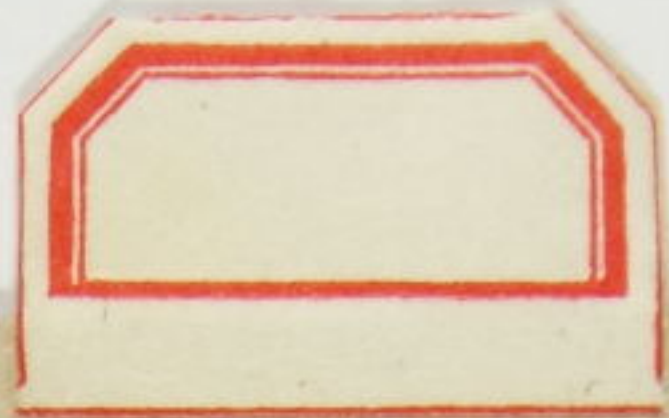


Handwritten Japanese text in cursive style, likely a historical record or inscription related to the rock carving site. The text is arranged in several horizontal lines across the top half of the image.

Handwritten Japanese text in cursive style, continuing the record or inscription. This section includes the printed labels: (寶國), 佛石田深, and 梓白後豊.







東京市牛込

五ノ三ノ新町

郵便はかき

市島山護生  
杖

一月廿九日午後

白紙



ARTÉ POSTALE  
WADA SEIBIDO CO IN BEPPU

冒すたるものにあきりて  
 るは極まり問はずあか  
 にまよも何事も儀軌以外に  
 一歩も踏み出しあつた後  
 世の密教の修行甚くは佛  
 師の多少思つたる自由  
 の藝術勸を有したる人  
 の作あるを推知すべし  
~~本朝の文化は~~  
 東洋の深田の満月寺には  
 ながすては再なるものありあは  
 ぬおのよははなはるるを  
 りたる氣持にて二時向と取  
 ちまひいともせいの如き





舟の  
 白科  
 の郊外  
 あり御の  
 満月寺  
 をめぐり  
 収念門  
 前一名  
 前田とも子  
 とよ所の  
 大日如來三  
 尊と不動  
 明王ニモ  
 子の六  
 子見  
 三尊白  
 甚く  
 理持風  
 化し  
 に境  
 とも  
 不知は

かくの  
 の  
 石の  
 あり  
 二人  
 び  
 の  
 が  
 寺  
 あり  
 の  
 不  
 白  
 主  
 有  
 形  
 有  
 松  
 島  
 不動  
 白  
 豊  
 後

(12)  
 4  
 3960  
 94





郵便はかき

あつたあつた

あつたあつた

市馬謙士

叔

一月廿五日  
午後



ARTIE POSTALE  
WADABENDO GO IN BEPPU

甲

今も昔にても然るにこれほど  
あつた濃きものあるものには  
少しの口ぐらゝの趣味には  
若し徳月寺の石佛の彫り  
がそのまゝの色彩ありしは  
惜む場所なきにはあは  
べりかと思ふよはちには其佛  
のかけき。他の半面は尚ほ岩  
屋上にあつた。これは白大理石の  
如く清くおちた。その両々対  
して彫りあり。南面の話刻の如し



所謂之（？）  
 の（？）や（？）  
 所謂（？）と  
 り（？）も  
 い（？）と  
 尚（？）  
 の（？）は  
 鳥（？）の（？）尺  
 亦（？）と（？）  
 何（？）に（？）計（？）  
 り（？）も  
 す（？）（？）  
 の（？）後（？）に  
 あ（？）つて（？）仕  
 舞（？）ひ  
 前（？）庭（？）に  
 是（？）事（？）附（？）か  
 りし  
 所（？）に（？）半（？）分に  
 け（？）た（？）る（？）件  
 の（？）形（？）の（？）形  
 の（？）其（？）ま（？）に



(22)  
 ↓  
 3960  
 46

(?)  
 の(?)を(?)  
 だけ(?)  
 之(?)  
 然(?)  
 た(?)  
 あ(?)  
 之(?)  
 後(?)  
 の(?)  
 (杵白後豊)  
 的(?)  
 場(?)  
 山(?)  
 之(?)  
 遠(?)  
 景(?)





46  
3960  
4  
(23)

東京市牛込

中島町五

郵便はか  
中島町五  
又



午後

日折り足



下  
ARTE POSTALE  
WADA SEIBIDO  
BEPPU

此の減あるはかいつて創建當時  
にありては感服せしむるも  
一也其の創建當時の意が好む  
よむは  
何の趣味をもみせしむる  
とありては  
憎れ  
加減あるは酒の醸造  
にもはかんに  
あはく  
彫刻は何時と  
是も  
即ち人物論の如き  
如何



ことに御座  
 提寺の  
 如く  
 堂家の  
 内外  
 ももに  
 柱影  
 の  
 施され  
 があし  
 があし  
 あまか  
 なるの  
 みにこ  
 唐松  
 提寺  
 の  
 味と  
 愛し  
 簡  
 雄  
 勤  
 あり



△ 望ヲ街市杵白リヨ山訪諏 (杵白後豊)





郵 便 局 へ



東京市東区  
東区三丁目  
五丁目  
中島町  
三丁目  
五丁目

お田

ARTIE POSTALE  
WABAYEBIDO CO IN BEPPU

白粉  
に  
月廿五日  
午後



此地の町役場の書記某が  
校碑を考へてきたものと  
聞りしが今其の書物  
を心をもて申すに勿論  
定形あるが故に書きたる  
論考とに其年代と  
刻一たりと云ふが先づ  
これに細に比較研究  
せしめよかのゆゑに  
得よと何れも是れ  
大事なりとて校碑に  
考するものとありし  
るものなり



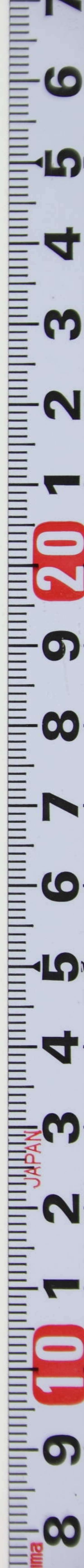
九州に投碑ありは...  
人の...  
ありが  
さくも  
陽月  
の巻  
より  
この  
の  
田  
と  
と

76  
3960  
4  
(29)

石佛の下に...  
首  
園公杵白  
の  
の  
の  
の  
の  
の  
の

8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20 1 2 3 4 5 6 7





郵 便 局 印



車より市まで

車五軒所廿五

一市馬の護士と

一

廿五の夜

白杵にて

ARTIE POSTALE  
WADA SEIBIDO CO IN BEPPU



思ひは、其の終るは平凡寺。  
プラスも打種馬からと二筆等  
ふりたる位のものにて、其の象  
は、白すきりに、（様を） 徹底的  
~~目~~ あり、ところか、長所にて  
確する。佛系、火神道史の時  
化の観念の加替、（欠け）  
た。深海にて、（欠け） 素人とも  
購す。は、是る、（欠け） 下通り  
も、二々通、（欠け） 人は、評  
接、接も、（欠け） 上田君の、（欠け） 冊子、（欠け）  
ある、（欠け）





今夜  
杵白の  
海老

千6  
3960  
4  
(25)

其村  
あり  
豊  
尾  
田  
茶  
白  
馬  
溪  
五  
は  
と



46 3960 4 (26)



下  
ARTE POSTALE  
WADA SEIBIDO CO IN BEPPU

白紙にて

郵 便 宛 へ  
新 所 共 五  
市 馬 謙 子 宛  
一 月 廿 五 日 宛

女 子 部 牛 乳



かいつて議論を繰り返すばかりにて論上の進歩の妨げなく美を自ら巻きたりといふは同じことを繰り返すといふに似た風にてやがら何れも若くは世上に生れ殖するものよりその存在と根本的に疑ふ人あるを多くは程の書と読むに似てあるが如きものも在りある人も今は多かりしと云ふもハ幡の生殖神あると云ふは成るに



Small red-bordered label on the left side of the photograph.

上田君の冊子は  
いかにも興、扱  
今く今く  
何れか  
田  
子  
あれも  
とにわくに  
信  
一  
二  
も  
あ  
方  
も  
は

悪酒  
も  
日  
身  
は  
あ  
い  
田  
常  
た  
た  
部  
園  
公  
(杵白後豊)





きかはは部



東京市牛込

あま野

其五

市島

おま

一月廿六

日

會

ARTE POSTALE  
WADA SEIBIDO CO IN BEPPU

甲



東京市牛込に在る  
あま野の  
真郎を伴ひて  
多く撮影せられたりし方  
向より十六枚だけ  
を一つとして  
は他の  
たあなる  
あま野  
の  
材料  
この  
この



46 3960 4 (27)



Handwritten Japanese text in cursive style, likely a dedication or historical note, positioned over the upper part of the photograph.

社 神 葉 稻 卜 社 魂 招 園 公 杵 口





郵 便 局 印 記



東 三 島 市

東 又 軒 所 坊 五

市 島 山 謙 士 村

一 月 廿 六

日 新 報

WADA SEIBIDO SO IN BEPPU

ARTE POSTALE

20



ハラヒ川と移る村のもの、如  
 はカキの未見もあつたが  
 新しきもの、いふ噂に  
 ばとらに見る、いふは五六十  
 年、いふは他に塔の基  
 石、其の年月、いふは  
 石生、五輪塔、二其基あり  
 一は美安二年のもの、他の  
 一は土着、禊の年向のものにて  
 文字あり、いふは金石、いふは  
 の復生、いふは、いふは、  
 改正、いふは、いふは、



46 3960 4 (28)



Handwritten Japanese text in the upper left corner of the photograph, including the characters '大日' and '鐘樓'.

Vertical handwritten text on the left edge of the photograph, possibly a date or location note.

(行發川十五) (跡城舊) 樓鐘時 園公杵白





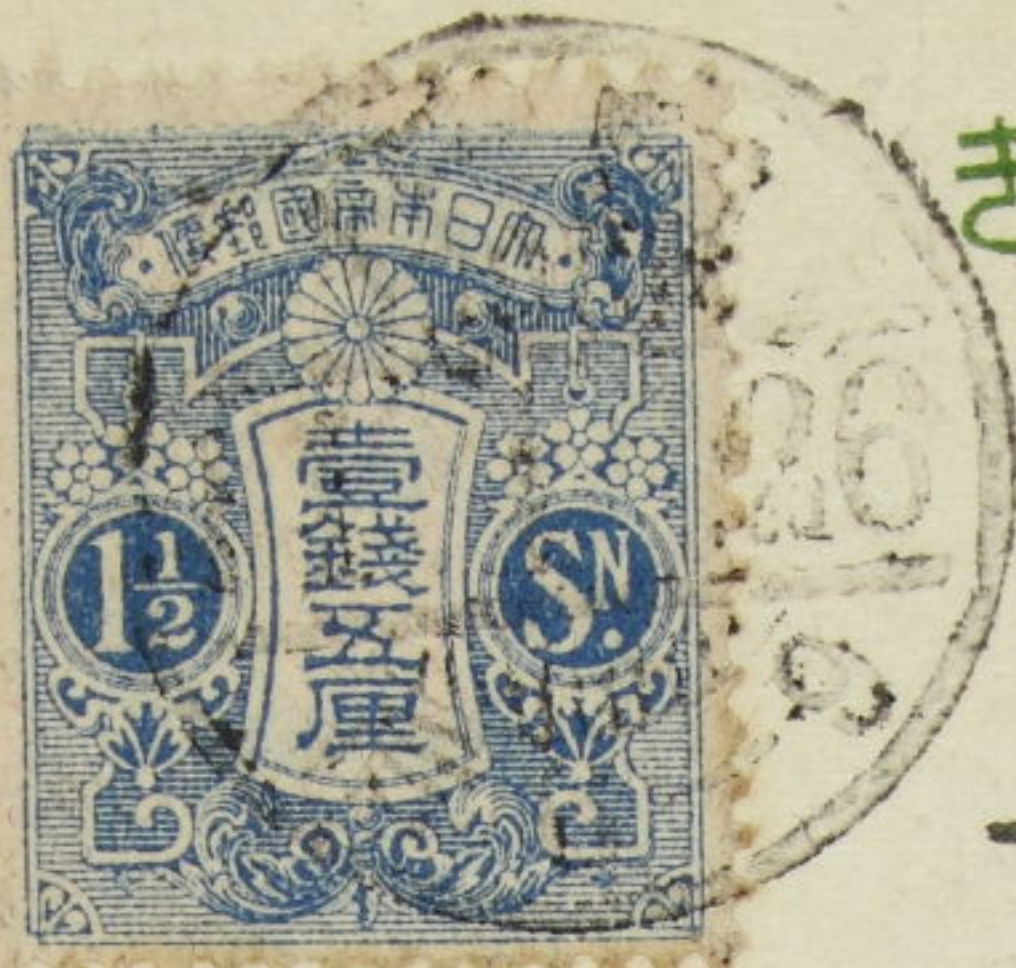


申すに子年申すに

女五所所五

市島護正村

郵便はかき



一月廿七日

白杵町

元井松路

會津川

(丙)



専らお許のやうに振  
り廻したる者も一か毛  
処にほのかの通大を剛  
のあつたも面白く  
はほかにある碑一つ  
其の文はよよがたうと聞  
きやうにふりやう現  
にたいぶたづの  
遂にとあつたが  
たづぬも少くか  
しやうか明の更には  
ぬをたつて行く  
復に里を靴の底  
めに破れて田  
所



寺の麻のいふ安日な遠く  
 清成は朝子寺の時  
 代よりが其の頃の塔に  
 石面にえらふのよむ入る  
 ものとて珍しきことに  
 傳ふるころに及ぼ月寺は  
 大反りの清のるあに  
 破壇をせられたるの  
 比等の塔は勿論  
 石佛と時代と  
 は同じやまにあ  
 はあががらよ  
 全くまはれたる同  
 寺の史のくも考へ  
 一井料とて  
 又三の全剛と  
 弘法大師が



千6  
 3960  
 4  
 (29)

④之圖トモニ種子アリ

文目 永安二年 六月十五日 日次  
 十部口 經 額 主 鑿 匠 定 剛 子 口





東三馬市牛込区

寺の町新町

市島山謙吉

郵便はにかき

一月廿七

日移

着



ARTE POSTALE  
WADA SEIBIDO CO. YOKOHAMA



此物とせしむるアリはにせしむ  
づくしそのやうに日移の図  
書館ある者に対して佛  
教美術研究のそとを  
もよく備付けし将り  
此図書館を以て地方の  
石佛研究の上の中心の  
たしむるやうに勤出さす  
つものには地方の図書館  
たるものは中央の文化を  
に善るせしむるは其地  
才物育の文化の善る物  
に他のいづれの図書館に

46  
3960  
4  
(30)





部 宛 は かし



(B) ARTE POSTALE  
WADATELIDO COMBEPPE

白杉  
に  
て  
る

東三子市牛込  
寺の寺好所共五  
市島真城寺  
寺



寺の寺好所共五  
伊勢の寺好所共五  
同地の太山寺も取調ぶ  
了ら西の寺も取調ぶ  
寺の寺好所共五  
宝物中に真の寺好所共五  
の伊勢寺又この建てた  
寺の寺好所共五  
此外寺好所共五  
の寺好所共五  
建と寺好所共五

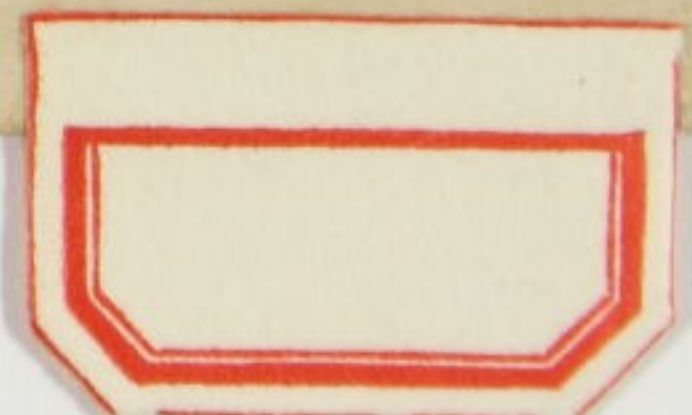
千6  
3960  
4  
(31)

又此の  
 中  
 所  
 臨  
 望  
 可  
 謂  
 奇  
 觀  
 實  
 道  
 中  
 之  
 一  
 景  
 也  
 忠  
 言  
 の  
 誠  
 實  
 の  
 心  
 主  
 張  
 の  
 意  
 義  
 甚  
 だ  
 明  
 白  
 なる  
 所  
 也  
 其  
 の  
 意  
 義  
 甚  
 だ  
 明  
 白  
 なる  
 所  
 也  
 其  
 の  
 意  
 義  
 甚  
 だ  
 明  
 白  
 なる  
 所  
 也



此の  
 所  
 臨  
 望  
 可  
 謂  
 奇  
 觀  
 實  
 道  
 中  
 之  
 一  
 景  
 也  
 忠  
 言  
 の  
 誠  
 實  
 の  
 心  
 主  
 張  
 の  
 意  
 義  
 甚  
 だ  
 明  
 白  
 なる  
 所  
 也  
 其  
 の  
 意  
 義  
 甚  
 だ  
 明  
 白  
 なる  
 所  
 也  
 其  
 の  
 意  
 義  
 甚  
 だ  
 明  
 白  
 なる  
 所  
 也

(行發館眞寫川十五) 首 龜 園 公 杵 白



新便のはき

東洋の市牛は区

舟の舟舟舟舟

市島護生会

本又



上

CARTE POSTALE

WADA SEIBU COMPANY BEPPU

別付に

舟



又きよきを出づる舟十道通し  
博士より著るやめはの区  
も勤められし舟の命令に  
て果せたいしにみり日臘  
押しせしむるや姫の旅行  
の著きめのあかりし  
野火から金山に出た  
とゆに重なる山はるる  
おもとくそはまに書つた  
つてよに  
おもとくそはまに書つた  
もゆに重なる山はるる  
おもとくそはまに書つた  
おもとくそはまに書つた  
おもとくそはまに書つた  
おもとくそはまに書つた  
おもとくそはまに書つた  
おもとくそはまに書つた  
おもとくそはまに書つた  
おもとくそはまに書つた  
おもとくそはまに書つた



76 3960 4 (32)

那ね白砂の  
後命の筆池城基の  
事訪いあまの志  
等々のなるあに一場の  
講席もとの所  
おまにこまこと  
もとより拒絶して  
この代りに  
石佛像を  
上につぎこ  
大仏の御開  
にてまゐり  
述ぶる事  
笑し今知は  
里邊  
とらうたを  
宿一を  
立花を  
焼ける  
あまの  
あまの



浴場内ノ部

(別府温泉場)







郵 便 局 印

東京市牛久保  
郵便局  
あまのり  
あまのり  
あまのり

ARTIE POSTALE  
WADA SEIBIDO CO IN BEPPU

46  
3960  
4  
(33)

善く居内に移して保  
管すべし 一雨風の  
難なるは難を避く  
るのみならず又隘路  
に研究上にも便利あり  
とよし 六島にゆき極  
めく平尾よりお好くは  
大分県の南を渡り志  
志の如くは行し得  
る場合にはは上平  
尾よりはははははは  
この島は四十七枚とある



鉄輪瀧湯ノ實況 (別府名所)

(一) 湯の石佛に因りて名を湯石とす  
 (二) 湯の石佛に因りて名を湯石とす  
 (三) 湯の石佛に因りて名を湯石とす  
 (四) 湯の石佛に因りて名を湯石とす  
 (五) 湯の石佛に因りて名を湯石とす  
 (六) 湯の石佛に因りて名を湯石とす



46  
3960  
4  
(34)

東京三好市牛込区

東五軒五

信便  
二ツ島山講寺  
村又

郵便のはかき



一  
サの  
リ  
寄  
年  
知

(F) ARTE POSTALE  
WADA SEIBIDO CO IN BEPPU

ステーションなどに待合せを  
 る女は老幼ともに白界の助の  
 通とも、昔甚だた多くない  
 たに白界の形の思ふもの  
 ありてだ、形式の社、  
 り白界と思ふ、然る者あ  
 どにて他國の者物とあ  
 見、一、ありてあら、  
 日本、白界の通、  
 ち、が、多きもの、に  
 大、の、を、に  
 子、あ、と、か、ま、ま  
 う、あ、と、ま、ま  
 子、あ、と、ま、ま  
 う、あ、と、ま、ま  
 子、あ、と、ま、ま  
 う、あ、と、ま、ま  
 子、あ、と、ま、ま  
 う、あ、と、ま、ま

天も  
 肥れ  
 カシ  
 こよ  
 あり  
 中  
 討  
 決  
 今

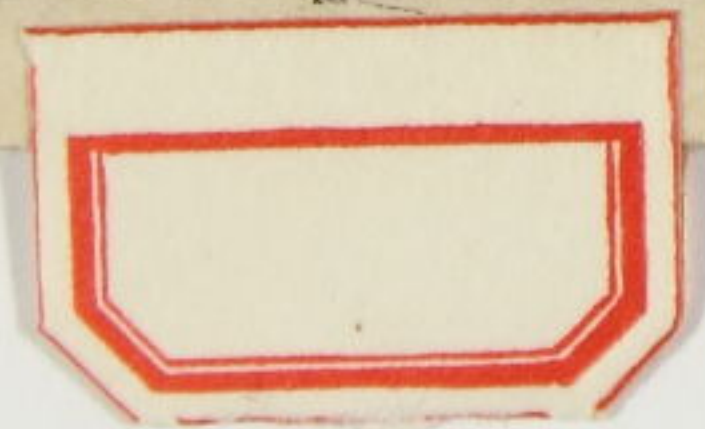
少  
 に  
 幸  
 老  
 大  
 女  
 奥

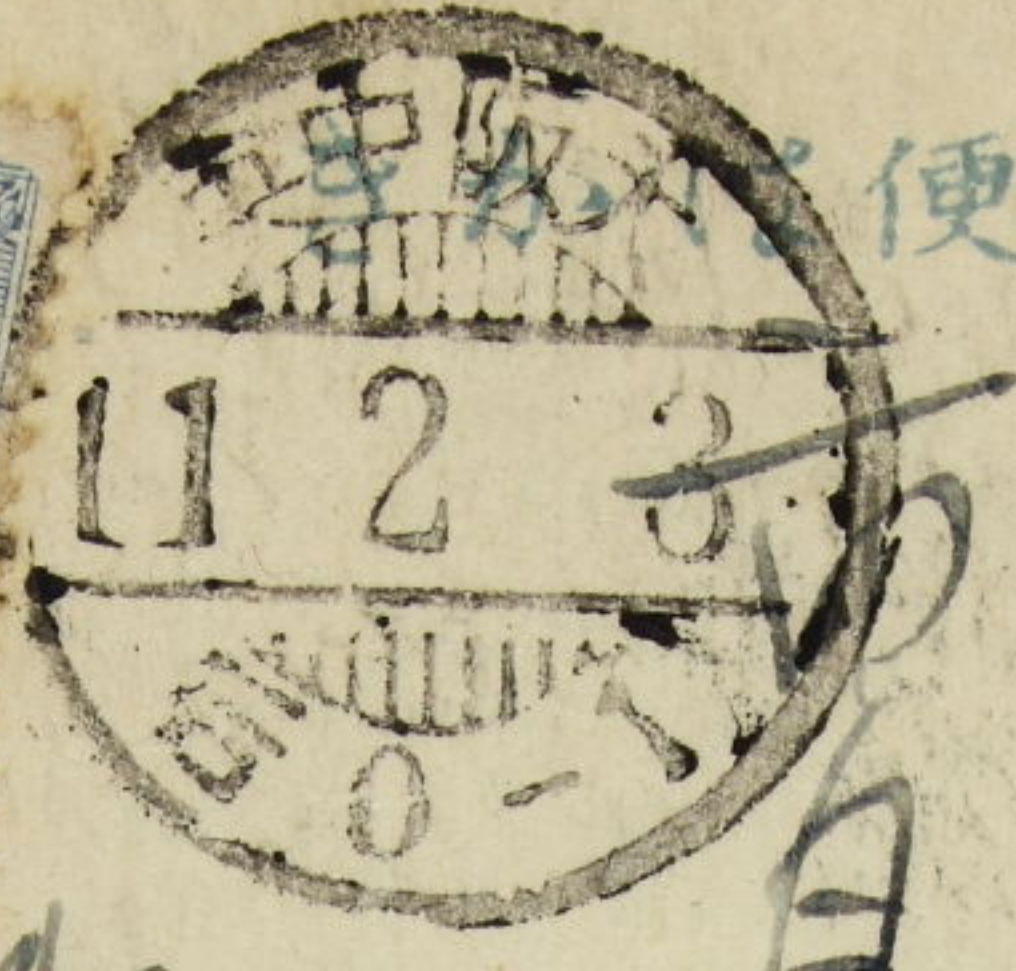
川  
 道  
 上  
 中  
 車  
 海  
 岸  
 朝



朝ノ岸海場泉温川龜

(勝名府別)





郵便

UNION POSTALE  
UNIVERSELLE  
POSTALE

二  
月  
廿  
二  
日  
寄  
出

島  
護  
本  
様

東  
下  
二  
宮  
子  
牛  
上  
有  
の  
新  
所  
廿  
五



UNION POSTALE  
UNIVERSELLE  
POSTALE  
PAR  
LA  
VOIE  
AEREE

寺僧の... 徳...  
わがくに... 建... 寺...  
後世の修神の... 古風の掃す... 其... 一... 従... 午...



76  
3960  
4  
(35)



大正寺とみんがために  
 昨の別  
 伊豫の  
 今より  
 善し  
 其の  
 十面  
 ハ作  
 野  
 寺  
 大  
 中

(行發店書屋龜)

TAKETA BUNGO

院の奥寺光晋

(田竹後豊)













fb 3960 4 (37)





郵便はかき

市身の海軍

支那の好所共々

申す兄弟先

POST KARTEN

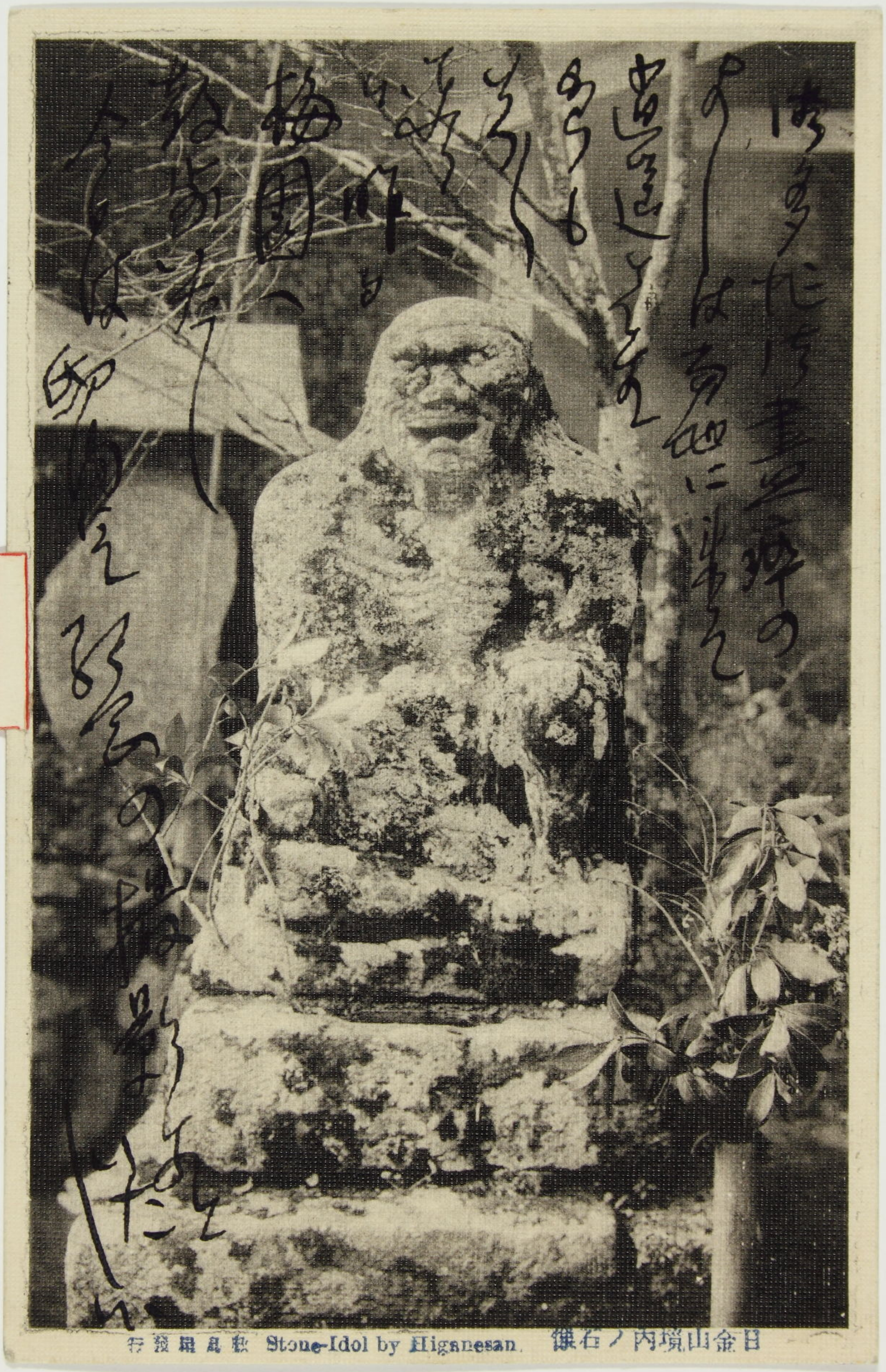
(FOR ADDRESS ONLY)

神戸海軍  
内勤部  
之

F6  
3960  
4  
(38)

先づ  
の風名には  
面々  
は  
大勢  
の  
方  
の  
初



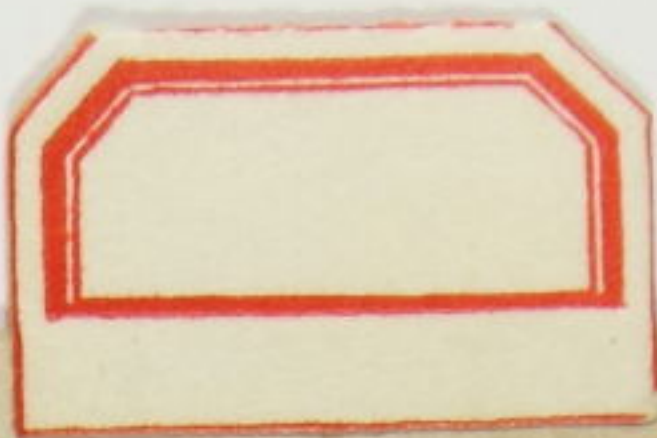


日金山内ノ石像  
 梅園  
 秋風  
 石像  
 日金山内ノ石像  
 秋風  
 石像  
 日金山内ノ石像  
 秋風  
 石像

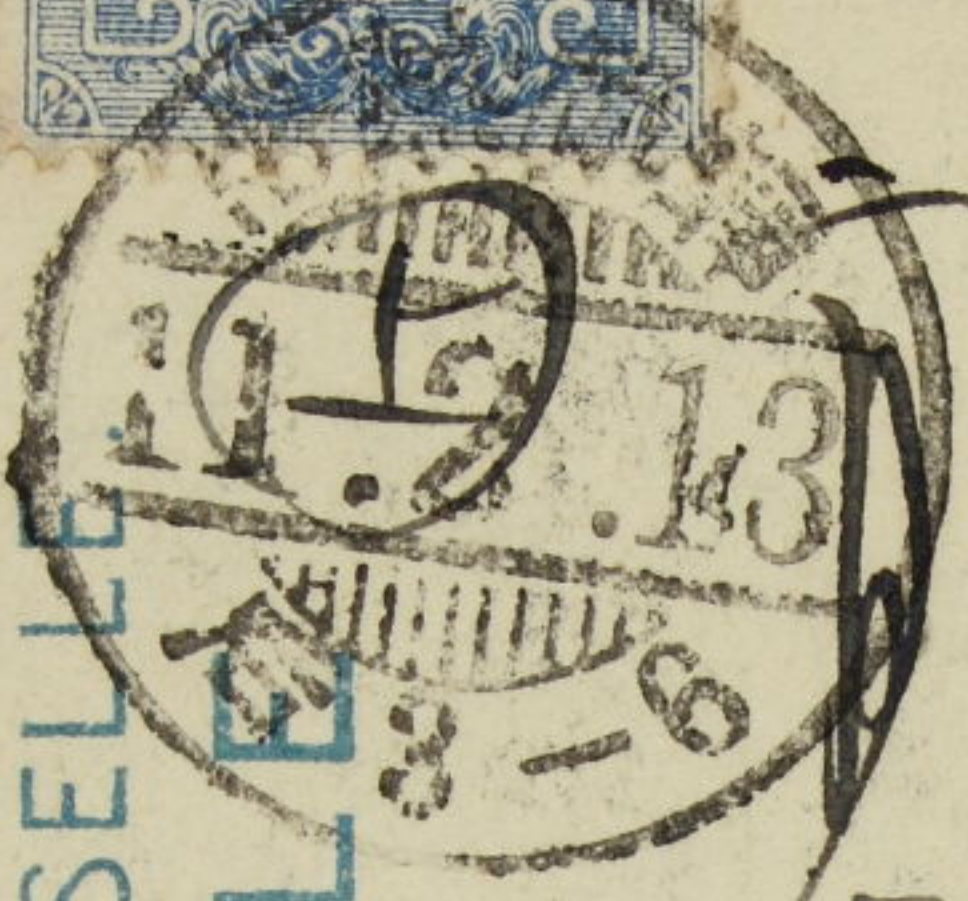
日金山内ノ石像 Stone-Idol by Higanesan. 日金山内ノ石像

日金山内ノ石像

8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20 1 2 3 4 5 6 7



郵便便かき



UNION POSTALE UNIVERSELLE  
LE POSTALE

1914.12.13

東ノ字市牛心  
女五新町廿五  
市馬道邊  
村

集一子... 前に大阪の寄寓一訪也  
其下... 陶印家北川幅  
二三時向... 刺繍...  
石佛の影... 影にて聊  
ため... 師...  
石佛の構... 捉て  
大音にて





大坂其の... 此田... 今も有... 痛... 汽車... 後... 急に... 咽... 声... 有... 其... 久... 主人...

(63)  
 4  
 3960  
 94

(行發屋島敦)

STONE MONUMENT AT THE JIKKU-TOGE, ATAMI.

碑石の峠國十海熱





東三島市牛久

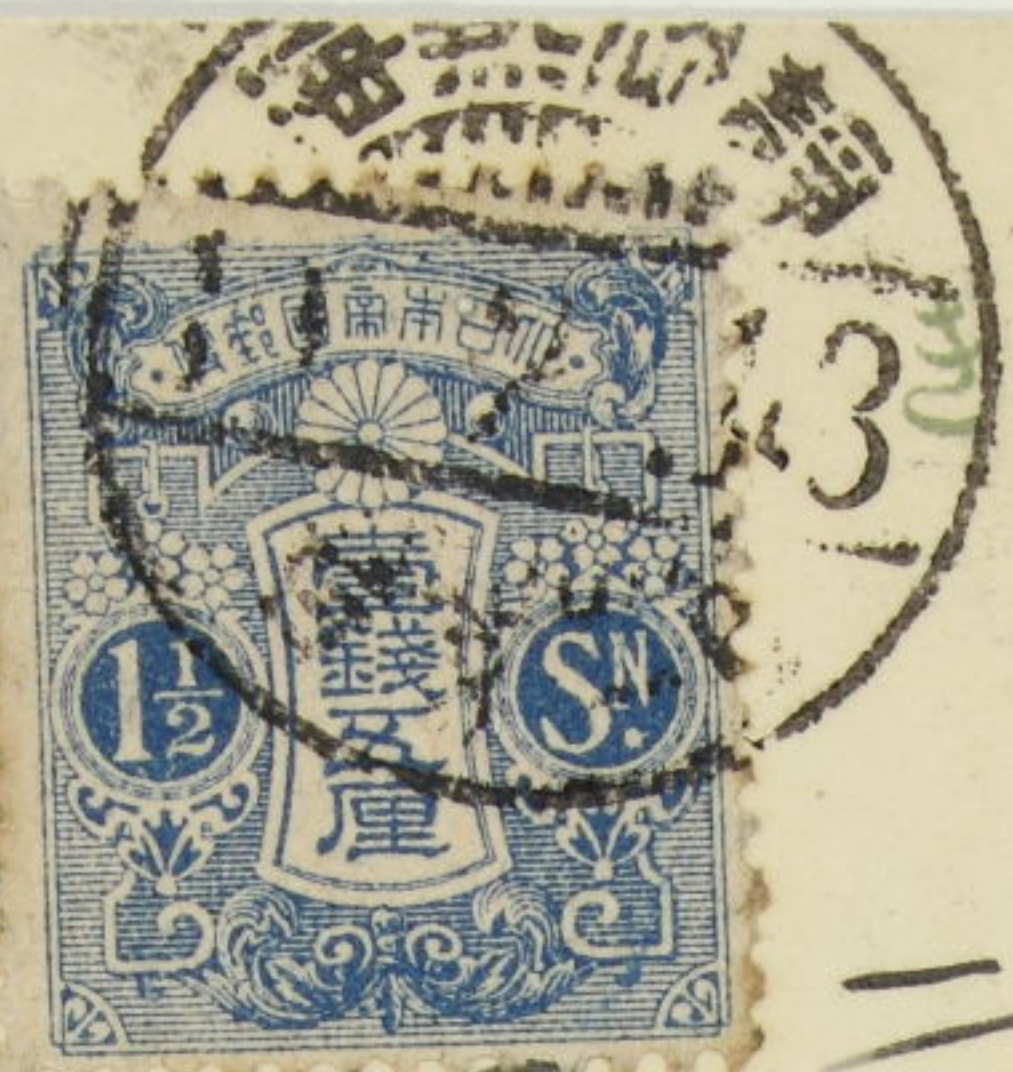
五軒町廿五

郵便便加

市島通書  
村阿

二月十三日

(下)



UNION POSTALE  
Union Postale Universelle.

郵便局  
CASA  
金一



畦を  
 ● 綯に描いた  
 もの  
 前 ポケットの氷砂糖の  
 破片を  
 を  
 とを  
 田の  
 石佛  
 付  
 した  
 風  
 なた  
 して  
 又  
 潤  
 する  
 物  
 々





46  
3960  
4  
(40)

竹の杖が  
世の中  
の杖が  
世の中  
に  
は  
門  
前  
の  
石  
塔  
の  
上  
に  
あ  
る  
水  
池  
の  
水  
の

止  
す  
ま  
り  
の  
に  
て

其  
恩  
を  
報  
せ  
る  
爲  
に  
車  
の  
塵  
を  
掃  
き  
つ  
け  
る  
事  
を  
心  
に  
記  
す  
べ  
し  
と  
云  
ふ  
は  
古  
の  
言  
に  
由  
り  
た  
る  
事  
に  
非  
ず  
や  
ら  
ん

(行發屋島敷) STONE-IMAGE AT THE HIGANESAN. 像石の内境山金日







A

UNIVERSELLE  
POSTALE



きかは便郵

市馬の  
護  
お

その  
もの  
り  
り  
り  
り  
り  
り

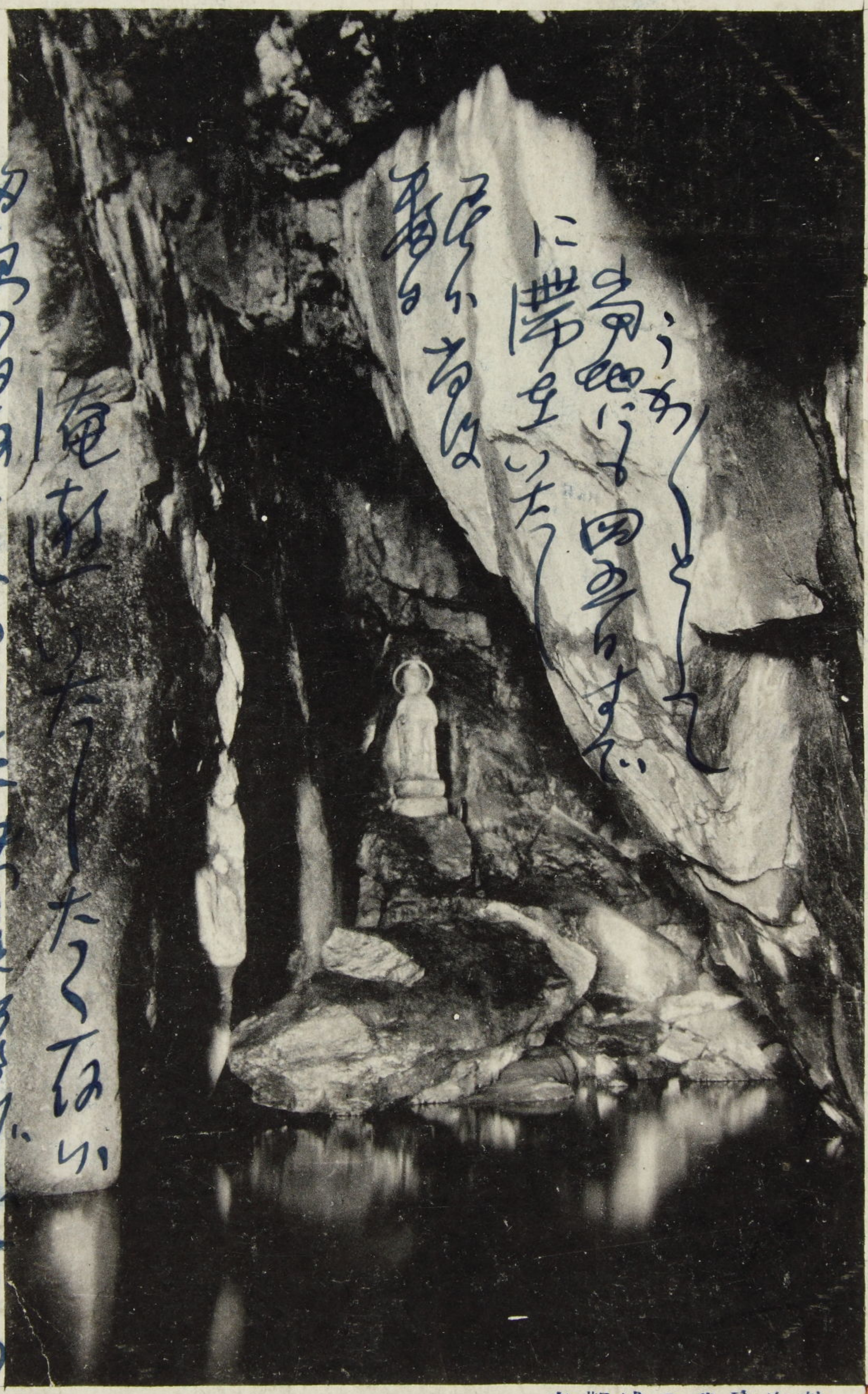
西之門下の入に  
其の  
この  
投生  
序と  
冬  
同  
の  
大  
お  
お  
お



西の口の石を  
また法蓮の  
1929

庵  
た  
い

熱海  
の  
洞  
窟  
に  
在  
る  
佛  
像  
の  
影  
を  
写  
す



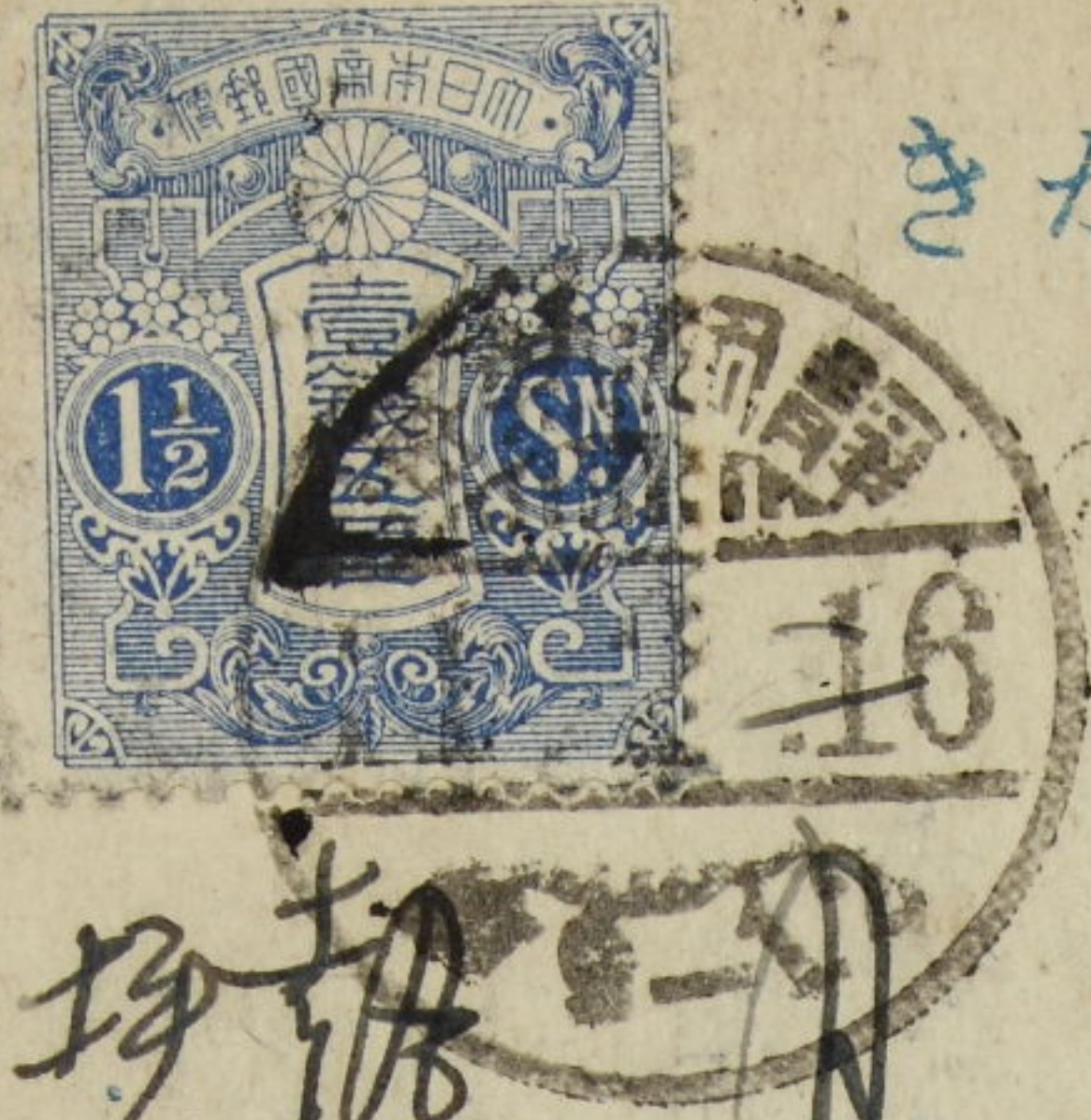
46  
3960  
4  
(41)

(行發屋島敷) A CAVE AT SOGANOURA ATAMI. 音觀浦の我曾海熱



B

東京府豊島区  
新井町



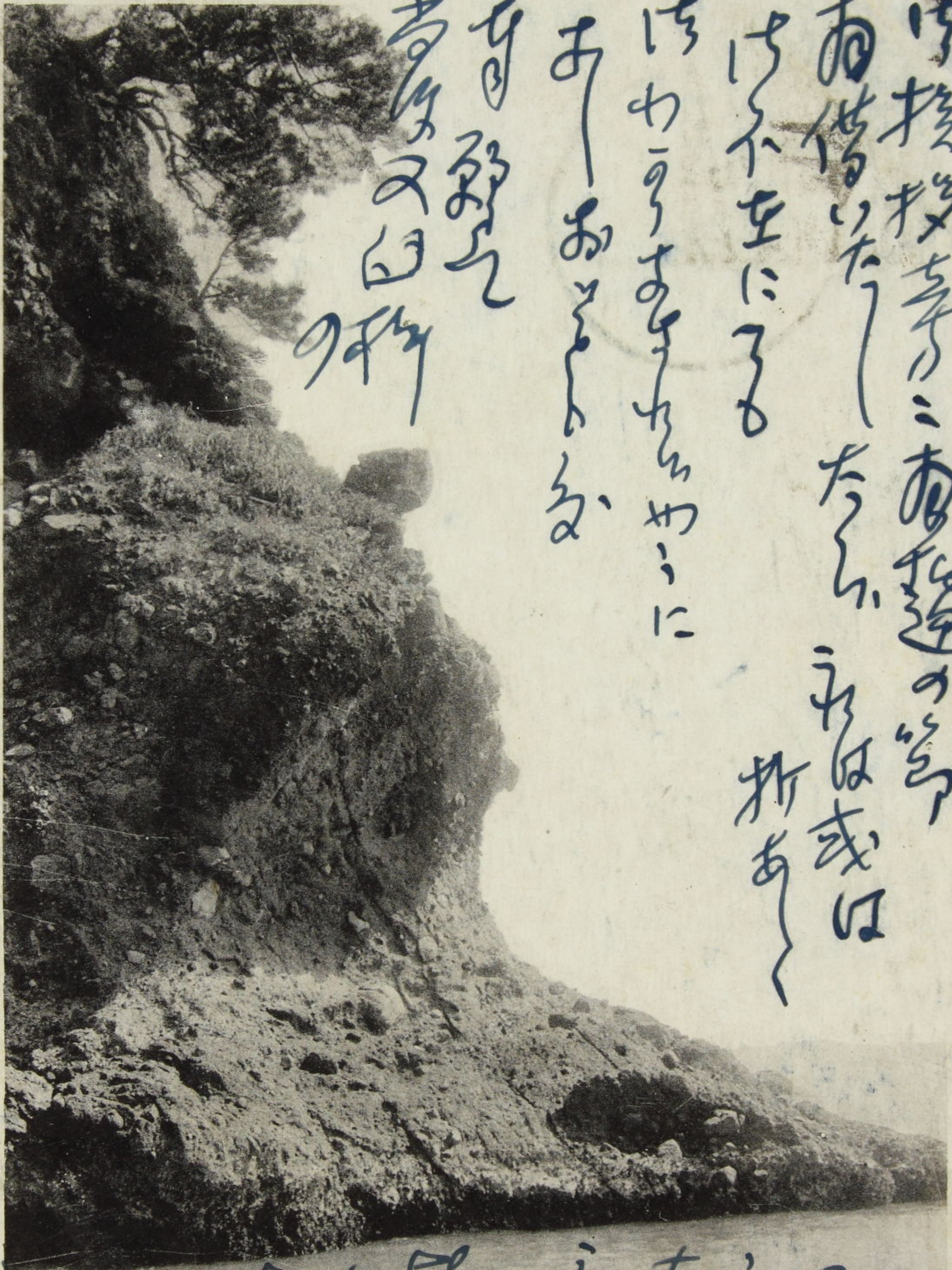
きかは郵便

東中野ハ  
其ノ  
軒ノ  
ヲ  
見  
送  
ル

76  
3960  
4  
(42)

海軍省の船舶試験に  
関する件  
船政院に  
送付す  
其の  
結果  
を  
御  
座  
下  
に  
送  
付  
す  
御  
座  
下  
に  
送  
付  
す  
御  
座  
下  
に  
送  
付  
す





寺の又白の石

お借いたし  
 折あ  
 石の仲は  
 大岡と  
 寺の又白の石

熱海錦浦ノ岩  
 寺の又白の石  
 大岡と  
 石の仲は  
 寺の又白の石

(行發屋島敷) THE NISHIKIURA, ATAMI. 岩ノハゴ浦錦海熱

